

岡山市第六次総合計画 (後期中期計画)

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

桃太郎のまちづくりレポート 2021

目 次

- | | |
|------------------------|---|
| ➤ 後期中期計画 令和3年度の実施状況 …… | 1 |
| ➤ 区別計画 令和3年度の実施状況 …… | 6 |

令和5年3月

岡山市

岡山市第六次総合計画後期中期計画 令和3年度の取組状況について

後期中期計画を着実に推進するため、PDCAサイクルの考えに基づき、成果指標の達成状況について令和3年度の評価を実施。

- 76の指標のうち、49の指標が「上昇」（64.5%）
- 9の指標が「横ばい」。（11.8%）
- 18の指標が「低下」。（23.7%）
うち15の指標が新型コロナウイルス感染症の影響（19.7%）

《評価基準》

「上 昇」 基準値に対し上昇

「低 下」 基準値に対し低下

「横ばい」 基準値に対し横ばい（変動率±0.5%の範囲内）

区分	上昇	横ばい	低下		合計
			コロナ	その他	
I 経済・交流都市	13	1	8	1	23
II 子育て・教育都市	13	3	6	2	24
III 健康福祉・環境都市	21	3	1	0	25
都市経営	2	2	0	0	4
計	49	9	15	3	76

※後期中期計画にかかる79の指標のうち、指標の調査周期に当たらず、実績値の把握ができない等の評価できない指標3つを除く

上昇した主な指標

- 市の創業支援による創業者数 22者 (H30) → 38者 (R3)
- 保育所等の待機児童数 259人 (R1) → 8人 (R3)
- 福祉施設から一般就労への移行者数 145人 (R1) → 177人 (R3)
- 市中心部の下水道管きよの老朽化点検率 72.9% (R1) → 91.1% (R3)

低下した主な指標

- JR岡山駅乗降客数 (1日当たり) 13.9万人 (R1) → 9.8万人 (R3)
- コンベンション参加者数 162,348人(R1) → 21,914人(R3)
- 地域活動への参加割合 45.3%(R1) → 39.9%(R3)
- 身近な自然体験プログラム参加者数 14,373人 (R1) → 5,096人 (R3)

目標値を見直した指標

- 温室効果ガス排出量(千 t - CO₂) 5,525 (R5) → 5,141 (R5) ※岡山市地球温暖化対策実行計画の改定（中間見直し）に伴う変更

岡山市第六次総合計画後期中期計画 令和3年度の取組状況について①

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」						
政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
1 産業	市の創業支援による創業者数(者)	22(H30)	38	50	上昇	●
	企業立地・再投資件数(件)	60 H28~R1 の合計	77 H28~R3 の合計	116 H28~R7 の合計	上昇	●
2 中心市街地	中心市街地の歩行者通行量(人)※ 上段:平日 下段:休日	4,324 5,654 (H29)	3,502 4,653	4,400 5,700	低下	●
	JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人)※	13.9	9.8	14.3	低下	●
3 農林水産業	新規就農者数(人)	34	31	50	低下	●
	担い手への農地集積率(%)	38.1	39.3	50	上昇	
	多面的機能支払制度取組地区数(地区)	69	66	80	低下	
	岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合(%)	59.5	62.8	70.0	上昇	
4 観光・交流	観光客数(千人)※	7,575	2,583	9,487	低下	●
	コンベンション参加者数(人)※	162,348	21,914	207,000	低下	●
	移住定住支援により移住した人数(人)	30	71	90	上昇	●
5 周辺地域	都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	37.8	43.4	39.3	上昇	●
	居住誘導区域内人口密度(人/ha)	58.4(H27)	59.4(R2)	59.6	上昇	●

政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
6 交通	自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口(万人)	30.3(H27)	-	36.1	-	●
	生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	3	6	8	上昇	●
	自転車利用環境の整備に対する満足度(%)	23.8	25.4	31.5	上昇	
	主要渋滞箇所数(箇所)	41	40	38	上昇	
7 景観・住環境	美しい都市景観の形成に対する満足度(%)	31.2	33.9	32.5	上昇	
	パークマネジメント導入公園数(公園)	0	0	3	横ばい	
	住宅や住環境の整備に対する満足度(%)	31	33.3	32.6	上昇	
8 歴史・文化	歴史・文化ゾーン来訪者数(万人)※	309	146	336	低下	
	文化財施設・講演会等への来訪者数(人)※	40,943	23,297	47,300	低下	
9 文化芸術	過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	57.3	41.7	65	低下	●
10 スポーツ	成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	39.0	39.9	65	上昇	

(注1) ※印は新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標のため、前期中期計画の目標値を引き続き設定

(注2) 「総合戦略」欄の●は、後期中期計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の共通の指標を示す

岡山市第六次総合計画後期中期計画 令和3年度の取組状況について②

将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
11 子育て	子育てしやすいまちと思う保護者の割合(%)	54.4(H30)	-	65(R5)	-	●
	保育所等の待機児童数(人)	259(R2.4.1)	8(R4.4.1)	0(R8.4.1)	上昇	●
	放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合(%)	77.3(R2.4.1)	81.6(R4.4.1)	100(R8.4.1)	上昇	●
	仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合(%)	45.5(H30)	52.1	67(R6)	上昇	●
12 健全育成、自立	心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体)※	69	63	90	低下	●
	社会参加プログラムに参加して就労に関するステップアップに至った発達障害者数(人)	10	11	50(R3~R7の合計)	上昇	
	里親等委託率(%)	16.4	19.0	36.8	上昇	
	家族で地域行事に参加していると答えた保護者の割合(%)	65.5	55.2	68.5	低下	
13 女性・若者	市内企業における管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合(%)	7.7(H30)	10.9	14(R6)	上昇	●
	固定的な性別役割分担意識の解消度(%)	67.3	72.4	79	上昇	
	若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	20.1	18.1	25.1	低下	●
14 学校教育	「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合(%)	小:84.2 中:84.5	小:84.2 中:82.7	小:90以上 中:88以上	低下	
	全国学力・学習状況調査の偏差値	小6国語:51 小6算数:50 中3国語:50 中3数学:50 中3英語:49	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:50 中3数学:50 中3英語:-	50以上	横ばい	

政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
14 学校教育	授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する子どもの割合(%)	小:5.6 中:3.8	小:4.4 中:4.7	小:100 中:100	横ばい	●
	1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合(%)	中2男子:8.5 中2女子:22.6	中2男子:8.5 中2女子:19.7	中2男子:7.0 中2女子:19.0	上昇	
15 教育環境	「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合(%)	55.4	56.5	61	上昇	
16 生涯学習	市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊)	5.8	4.6	6.4	低下	
	公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	737,316	365,117	738,000	低下	
	公民館基本方針重点分野の事業への参加者数(人)	53,000	22,521	62,000	低下	
17 協働、ESD	ESDプロジェクト参加団体数(団体)	307	341	370	上昇	●
	地域活動への参加割合(%)	45.3	39.9	50.8	低下	●
	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	40	45	65	上昇	●
18 国際	海外の人との交流や国際交流関係のイベントに参加したことがある市民の割合(%)	12.4	12.4	16	横ばい	
	外国人相談窓口における月ごとの平均相談件数(件)	157	228	194	上昇	
19 人権	協働により人権啓発事業を実施した団体数(団体)	55	58	73	上昇	

(注1) ※印は新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標のため、前期中期計画の目標値を引き続き設定

(注2) 「総合戦略」欄の●は、後期中期計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の共通の指標を示す

岡山市第六次総合計画後期中期計画 令和3年度の取組状況について③

将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
20 健康	健康寿命(歳) 上段:男性 下段:女性	71.6 74.3 (H28)	72.2 74.9 (R1)	72.6 76.2 (R4)	上昇	●
	生涯かつやく支援センターが就労に結び付けた人数(人)	26	195	750 (R3~R7)	上昇	●
21 医療・介護	訪問診療を受けた患者数(レセプト件数)	56,745 (H30)	64,219 (R2)	67,000 (R6)	上昇	
	生活・介護支援サポーター養成数(人)	1,362	1,542	2,080	上昇	●
	認知症サポーター数(人)	52,565	58,207	75,000	上昇	●
22 福祉	福祉施設から一般就労への移行者数(人)	145	177	197	上昇	
	生活保護受給者を含む生活困窮者の就労支援者における就職者率(%)	60.5	62.9	70	上昇	
23 防災・減災	下水道浸水重点対策整備率(%)	46	46.1	100	横ばい	
	住宅・建築物等の耐震化率(%) 上段:住宅 下段:避難路沿道建築物	87 91	88 92	95 95	上昇	
	水道の基幹管路(口径400mm以上)の耐震適合率(%)	45.8	49.1	51.3	上昇	
	市中心部の下水道管きよの老朽化点検率(%)	72.9	91.1	100	上昇	

政策	指標名(単位)	基準値(R1)	実績値(R3)	目標値(R7)	状況	総合戦略
24 地域防災	自主防災組織率(%)	92.2	94.1	100	上昇	●
	住宅用火災警報器の点検実施率(%)	36	39	60	上昇	
25 市民生活	刑法犯認知件数(件)	4,632	3,549	4,000	上昇	
	人身事故件数(件)	2,105	1,977	1,300	上昇	
	消費生活センターの認知度(%)	84.5	84.2	90	横ばい	
26 環境活動	身近な生きものの里認定地区数(地区)	17	23	25	上昇	
	事業場等への立入調査実施率(%)	74	79	100	上昇	
	身近な自然体験プログラム参加者数(人)	14,373	5,096	16,000	低下	
	美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数(1主要通り当たりの1日平均)(個)	102	76	90	上昇	
27 低炭素	温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	6,119 (H29暫定)	5,444 (H31暫定)	5,141 (R5)	上昇	●
	環境にやさしいライフスタイルの実践度(%)	49	56	60	上昇	
28 循環型社会	ごみの資源化率(%)	27.4	27.3	31.1	横ばい	
	市民1人1日当たりのごみ排出量(g)	842	794	754	上昇	
	汚水処理人口普及率(%)	84.2	85.2	90	上昇	●

(注1) 「総合戦略」欄の●は、後期中期計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の共通の指標を示す

岡山市第六次総合計画後期中期計画 令和3年度の実績状況について④

都市経営						
政策	指標名(単位)	基準値 (R1)	実績値 (R3)	目標値 (R7)	状況	総合 戦略
29 創生等	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合(%)	79.0	79.3	85	横ばい	
30 行財政運営(行革プラン)	実質公債費比率(%)	5.6	5.1	5%台	横ばい	
	窓口以外での証明書(住民票等)の交付率(%)	9.5	14.9	17	上昇	
	岡山市役所の管理職に占める女性の割合(%)	13.8 (R2.4.1)	16.9 (R4.4.1)	20 (R8.4.1)	上昇	
	市から必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合(%)	60.3 (R3)	60.3 (R3)	R3年度実績値より10ポイント上昇	-	

区づくりの将来目標

自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区

総括

総合評価

方向性1 まちなかの魅力と賑わいの創出

西川パフォーマー事業者等との協働による西川緑道公園の特色をいかしたイベントの開催や岡山城周辺の旭川の水面を活用した社会実験を実施し、歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わい創出につなげている。県庁通りについては、車道を1車線化し歩道を拡幅する工事が完成した。今後も沿道まちづくり組織とともに整備した歩道空間をオープンカフェで活用する等の取組やまちづくりの活動を通じて核となる人材の発掘・育成を図っていく。岡山芸術創造劇場ハレノワについては、令和5年9月の開館に向け、プレ事業の実施等により機運醸成を図った。今後も商店街の活性化事業への支援等によりまちなかの魅力や回遊性向上、賑わいの創出を図るとともに、美しく快適なまちづくりに向けた取り組みを地域住民との協働により進めていく。

方向性2 農村部、中山間地域の活性化

継続的な就農相談や関係機関と連携した研修事業の実施、就農直後の経営に資する資金や設備投資に関する補助金の交付、地域の水路・農道等の維持管理に関する共同活動への支援、また、農用地の保全と生産性向上のための基盤整備等の実施により、新規就農者の確保と農業者の営農継続等につながっている。農業従事者の高齢化や減少が進む中、今後も担い手の確保や育成、農業者団体等による農産物ブランド化の取組、農業経営力の向上など「儲かる農業」の実現に向けた支援を実施していく。また、御津・建部・牧山地域に導入している地域おこし協力隊による取組が地域活性化に寄与しており、今後も中山間地域等への人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進に向けた支援を継続していく。さらに、地域の課題解決に向けコミュニティビジネスの視点から取り組む活動に対する支援として、地域の未来づくり推進事業を進めており、計画検討のための個別相談などを行った。今後も地域住民等の地域の未来づくり計画作成に対し、必要な支援を行っていく。

方向性3 企業立地の推進

本市が持つ優れた交通網による拠点性の高さや災害リスクの低さ等を活かすとともに、企業ニーズを的確に把握しながら、制度の新設、拡充等を行うことにより、企業本社、中四国支店などの広域的営業拠点等の立地を推進した。また、若者を中心とした人材の首都圏等への流出を防ぎ市内への定着を図るため、IT・デジタルコンテンツ産業など事務系職種の新たな雇用創出や、拠点強化を図る市内既存工場等の設備投資等への支援を行ったところであり、引き続き企業立地を推進していく。

方向性4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信

岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流 2022」の開催に向けた諸準備を進めるとともに、展覧会へ来場するきっかけづくりや子どもへの鑑賞支援等の取組を企画・実施した。岡山城については、大規模改修のため、令和3年5月31日をもって閉館し、令和4年11月3日のリニューアルオープンへの期待感を醸成するための情報発信事業やイベント等を行った。今後も各種メディア・雑誌等を活用して岡山城、岡山後楽園を中心とする歴史・文化ゾーンや日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」と連携した吉

備路等の岡山を代表する地域資源を国内外に発信するとともに、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組を進めていく。また、区まちづくり独自企画事業として、北区の隠れた魅力を掘り起こし、多様な地域資源を再認識することにより地域活性化のきっかけづくりとなることを目指し、建部、御津、牧山地区を巡るバスツアーを開催するとともに、より多くの人に北区の魅力を伝える写真を市ホームページに掲載し、情報発信を行った。

方向性5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上

自転車利用環境の向上に向けた自転車通行空間の整備、コミュニティサイクルももちやりの利用促進、中心部における駐輪場整備、自転車の通行ルールやマナーの啓発等に取り組んでいく。路面電車の岡山駅前広場への乗り入れについて一部工事の着手を行い、延伸・環状化については、大雲寺前電停から岡山芸術創造劇場ハレノワを経由して西大寺町電停までの区間を都市計画決定した。さらに、公共交通の利用が不便な地域のうち、御津・建部コミュニティバス、足守生活バスについては、運行経費を一部助成した。デマンド型乗合タクシーの運行については馬屋上・野谷地区では運行計画を見直すとともに、横井地区での導入に向けた検討を始めており、今後も公共交通の利便性の向上に取り組んでいく。

方向性6 持続可能で活力のある地域づくり

新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたものの、各地域において区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業等を通じて区民の自主的・主体的な地域活動が行われている。また、地域の特性をいかした健康づくり活動などを通じて持続可能な地域づくりを進めている。このような地域における主体的な活動が持続可能なものとなるよう、引き続き担い手の育成などの支援を行っていく。

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり

地域における防犯・防災活動の担い手不足が課題となっている中、防犯・防災意識の高揚を図るため、出前講座の実施、洪水・土砂災害ハザードマップ、津波ハザードマップの更新や地域防犯ボランティア団体への活動の支援、自主防災組織の結成促進及び活動活性化などに取り組んでいる。浸水対策におけるハード整備については、平成30年7月豪雨災害を踏まえ、今保ポンプ場の整備工事などの浸水対策、天瀬ポンプ場の長寿命化工事など下水道施設の長寿命化、耐震化を図るとともに道路防災危険箇所の点検や対策工事を進めている。今後も計画的なハード整備を実施していく。

区づくりの将来目標

ふれあいと活気にあふれ、快適で住む喜びに満ちたまち 中区

総括

総合評価

方向性 1 交通利便性の向上

都心部への交通アクセス性向上や区内の各地域間の円滑な移動確保のため、都市計画道路下中野平井線（中環状線）、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）等の幹線道路の整備を進めた。

岡山市総合交通計画を基に、鉄道やバスの利用環境改善など公共交通の利便性向上に向け、引き続き取組を進めていく。

また、自転車通行空間の整備については、自転車利用環境の改善に向け、重点エリアにアクセスする路線及び郊外部の主要駅周辺や地域拠点等の路線の選定を行った。

方向性 2 豊かな自然環境の保全

区民参加のホタル調査や保護団体等と連携してのアユモドキの保護・啓発活動を実施するとともに、生物多様性の保全活動を推進するため、「身近な生きものの里」として認定している高島・旭竜、曹源寺、今谷の3地区の住民主体の自然保護活動を支援した。

また、操山公園里山センターの講座等を実施し生物多様性保全に係る啓発品を配布するなど、地域の生態系や自然環境を守り継承する取組は着実に進んでいる。

方向性 3 地域資源の活用と発信

区づくり推進事業などを通じて、地域住民の創意工夫による各地区の特性を生かした地域づくりや、地域の歴史や特産物、文化の発信が進んでいる。

また、地域の埋もれた歴史資源を紹介する「岡山歴史のまちしるべ」設置事業により、地域団体からの提案を受け新たに3基の案内看板を設置するなど、地域資源の活用と発信に向けた取組が広がっている。

方向性 4 多世代の交流・協働による地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業を通じて、区民の主体的な地域交流・自主的な地域活動を支援するとともに、地域活動への参加促進に向け、若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施するなど、コミュニティの活性化を着実に進めている。

また、区独自に山陽学園大学・短期大学及び就実大学・短期大学と締結した包括連携協定をもとに、大学が有する高い専門性の地域振興への活用や、若年層の地域づくりへの参加促進等を進めているところである。引き続き、大学と協力して活力ある地域づくりを推進していく。

区独自事業として、大学との包括連携協定に基づき、大学の教員と学生による、高齢者への健康測定を3公民館で実施し、学生の地域活動への参加や高齢者との交流を推進することができた。

方向性 5 地域住民の手による防災・防犯力の向上

自主防災組織に対する活動費用の助成や地域防災マップ作成支援、出前講座の実施等により、住民の防災意識や地域の防災力の向上を図った。

一方、浸水対策として、倉安川の河川改修工事や用排水路の浚渫・改良工事等のハード事業を進めるとともに、町内会への可搬式ポンプの貸与や町内備蓄土、洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布を行った。

また、地域防犯についても、防犯ボランティアを対象に指導や講習等の支援を行うとともに、防犯灯・防犯カメラを設置する町内会等への費用助成を実施しており、地域住民の手による防災・防犯力の向上は着実に進んでいる。

区づくりの将来目標

いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち 東区

総括

総合評価

方向性1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各地域の伝統行事やイベント等が中止になる中、国指定重要無形民俗文化財である西大寺会陽の無観客開催を受け、新型コロナウイルス感染症収束後の海外からの誘客も念頭に置き、ホームページでその魅力を発信した。

また、地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」を新たに6基設置し、市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図るとともに、地域資源の魅力を積極的に情報発信した。

区まちづくり独自企画事業では、産学官が連携して東区の「おみやげ」を創出することにより、特産品に対する開発意欲の喚起や、地域の活性化を図った。引き続き、地域の歴史や文化・自然など地域の魅力を多くの人に知ってもらうことで、活力あるまちづくりを推進していく。

方向性2 多世代が交流・活動できる地域づくり

「区づくり推進事業」として、地域住民が主体となって独自の企画により行われた地域づくりの取組に対して支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で地域ぐるみの活動が低調になった。地域主体の取組が途切れることのないよう、今後も地域の自治組織と学校や事業者との連携や、子どもから高齢者まで多世代の交流など、地域主体の取組に対して引き続き支援を行っていく。

また、地域の新たな担い手の確保・育成を図るため、地域の課題解決に向けコミュニティビジネスの視点で取り組む多様な主体による活動に対する支援「地域の未来づくり推進事業」や「地域活力創出支援事業」を通じて、地域の活動が持続可能なものであるよう支援を継続していく。

方向性3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興

企業立地を推進するため、地域未来投資促進法の活用を検討する民間事業者の取組を引き続き支援していく。

持続可能な農業の振興を図るため、就農相談会や農業体験研修等の実施、新規就農者への奨励金給付等の支援をすることで、新規就農者を確保した。引き続き「儲かる農業」の実現に向けた施策を推進していく。

また、既存の農業用施設の改修や長寿命化対策の実施、水利運用の省力化に資する農業用施設の新設、改良、更新を通じて、農業従事者の高齢化に対応した。

方向性4 交通利便性の向上

美作岡山道路の料金設置箇所切土、ランプ橋下部工事をはじめ、主要地方道岡山赤穂線における鉄道交差部の工事や主要地方道岡山牛窓線道路改良工事・用地取得を進めるなど、各路線の整備に取り組んだ。

また、交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保として、城東台・草ヶ部地区および角山地区でデマンド型乗合タクシーの本格運行を始めた。令和2年度から本格運行を始めた千種地区においては、運行計画の見直しを検討し、朝日地区及び幸島地区においては、新規導入の検討を行った。今後も地域住民、交通事業者と連携し、運行改善と新規導入に向けて検討を行う。

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり

地域の特性に応じたきめ細やかな健康づくりを進めるため、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、健康市民おかやま21推進会議の活動を行うとともに、「ええとこ発見図(ウォーキングマップ)」を活用したウォーキング大会や、「OKAYAMA!市民体操」を開催した。今後も地域住民と協働し、地域の特性に応じた健康づくりの取組が充実するよう支援していく。また、企業や職域とも連携しながら、自然に健康になれる環境づくりを目指す。

方向性6 安全・安心な地域づくり

浸水対策として、平成30年7月豪雨による砂川破堤を受け、国による吉井川高潮堤防整備、県による砂川の激特事業を引き続き実施したほか、金岡ポンプ場の耐震工事および長寿命化を実施した。町内会等に対しては、真砂土及び土のう袋の配布、雨水貯留タンク設置の助成等に取り組んだ。

また、地域の防災力向上を図るため、自主防災組織の結成時に必要となる防災資機材を整備するための助成や活動、運営に関する助成を行ったほか、地域での防災出前講座を実施し、市民の防災意識の高揚を図った。

地域の自主的な防犯活動に対する取組を支援するため、町内会が防犯灯や防犯カメラを設置する際の補助や、地域の要望に基づく通学路防犯灯の設置を行った。

区民の防災意識および安全・安心な地域づくりに対する意識の向上に努め、今後も区民の主体的な活動を促進していく。

区づくりの将来目標

人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと 南区

総括

総合評価

方向性 1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

県による笹ヶ瀬川、倉敷川の河川改修事業の推進、市による植松排水機場の整備、築港新町地区ほかの下水道雨水管渠整備等、ハード面での浸水対策を推進した。ソフト面では、雨水貯留タンクや止水板、雨水流出抑制施設の設置に対する助成を行った。

地域の防災力を高めるため、洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布や出前講座の実施、また、防災資機材、地域防災マップへの助成を通じて自主防災組織の結成や活動の支援を行った。また南区地域防災力強化事業として、「防災訓練ハンドブック」の配布、「防災専門家」の派遣、「防災グッズ」の貸し出し、「防災インストラクター養成講座」を実施した。

方向性 2 活力のある農業の振興

国、県や土地改良区等と連携して、老朽化した農業用施設の補修を着実に推進するとともに、建設から長年経過した広域農道である千両街道の整備を行っており、農業用施設の長寿命化を引き続き進めていく。鳥獣害対策については、捕獲柵の補助及び猟友会への駆除依頼などにより一定の効果をあげており、引き続き実施していく。

方向性 3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化

地域行事等に使用する備品の修繕や町内会活動の充実のための支援を通じて、地域住民の交流を促し、コミュニティ活動の活性化を図った。

地域住民が主体となった地域づくり活動に対しては、区づくり推進事業を通じて支援を行っており、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けたが、奥迫川大山桜の花見や防災訓練などのイベントが行われ、地域内外の住民同士の触れ合いと絆づくりにつながった。また、SNS等を活用した情報発信を行い、幅広い層に対する地域活動への参加の促進を図った。

方向性 4 地域の魅力の発掘・発信

区づくり推進事業を紹介するポスターを作成して周知を図るとともに、地域の伝統行事等のSNS等を活用した情報発信や、地域の歴史・文化の由来等を顕す看板「岡山歴史のまちしるべ」の充実により、南区ならではの魅力を区内外に向けて発信した。

方向性 5 交通の利便性の向上

外環状線の一部を構成する市道藤田浦安南町線や主要地方道岡山児島線等の幹線道路の整備を進めた。

迫川地区デマンド型乗合タクシーは、平成30年度から本格運行を開始したが、今後のさらなる利用促進に向けて運行計画の見直しを行った。また、迫川地区以外の公共交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保についても、地域とともに検討していく必要がある。

方向性6 健やかに暮らせる地域づくり

ふれあいセンターや公民館を拠点として、ウォーキング大会や健康教室等、市民との協働による日常的な運動習慣の推進に取り組んだ。今後も、地域における自主的な健康づくりに向けた環境整備に取り組んでいく。